

大阪南港で RORO 船のシップウォッチング

2022.8.6 事務局長 池田良穂

カーフェリーと共にたいへん興味をもっている船種に RORO 貨物船があります。いずれも RORO 荷役をして、船の形もよく似ていますが、窓の数が違うのが外見上の大きな違いです。航路が競合している場合にはトラックやコンテナ輸送においてはライバル同士であり、その競争力の違いも気になります。

先日、北海道に行った時には、連日、苫小牧港の RORO 船埠頭に出向いて、本州～北海道間に就航する RORO 貨物船の姿を追いました。

大阪に戻って、苫小牧で撮影した近海郵船の写真の整理をするために同社のホームページを覗いたら、同社の沖縄航路で RORO 貨物船「しゅり」が 7 月末に代替されたことがでていたので、新船「しゅり」の大阪南港への入港シーンの撮影に出かけました。沖縄からの上り便は、朝 8 時に南港の旧かもめ埠頭に着き、12 時に東京に向けて出港します。ちょうど名門大洋フェリーの第 2 便の入港時間にも近いので、ファインダーの中に同時にに入ることも期待して出かけました。



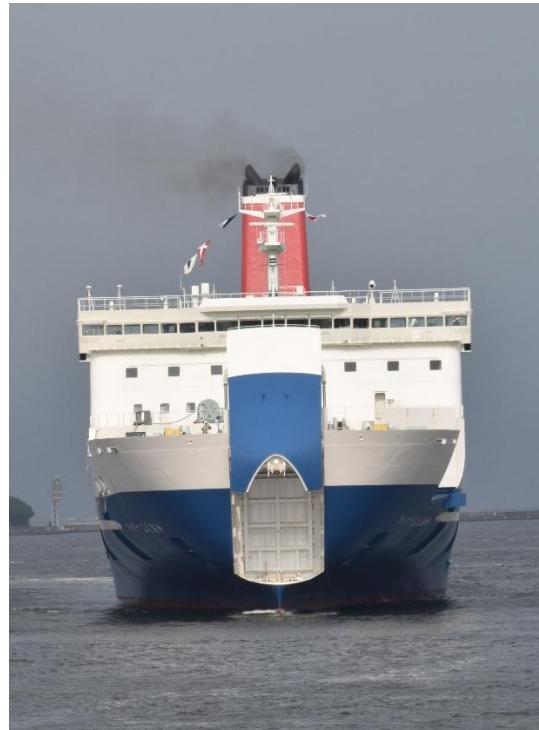
近海郵船の新造 RORO 貨物船「しゅり」。先代の「しゅり」に比べるとだいぶ大型化されました。船主は瀬野汽船、設計は日本シップヤード、建造は今治グループの IS 造船です。「しゅり」に続いてマルエーフェリーの RORO 貨物船「琉球エキスプレス 6」も入港してきました。



つづいて名門大洋フェリーの「フェリーふくおか」が入港してきました。



「琉球エキスプレス」、「しゅり」、「フェリーふくおか」がファインダーの中に納まりました。大阪南港の朝 8 時は、本当にビギーポートに相応しい賑わいでした。



「フェリーふくおか」の 2 つの顔が撮れました!!